



主要な農作物の生育情報

平成23年度 第9号

(平成24年3月27日)

福島県農林水産部農業振興課



【麦 類】 (3月20日現在)

農業総合センターにおける麦類の生育は、越冬前では茎数が平年比68～91と少なく、葉齢は平年並みでした。

越冬後の生育は、12月中旬から2月中旬まで気温が平年を下回り、草丈が平年より短く茎数は平年並み～やや多め、葉齢は0.9～1.3枚遅れている状況です。

なお、作況試験における幼穂形成始期は、ふくあかり2/25、きぬあずま1/30(平年1/29)、ゆきちから3/12(平年2/27)となりました。

【野 菜】 (3月1日現在)

1 イチゴ

県北・県中・県南・いわき地方の促成栽培の生育は、12月中旬からの低温の影響で草勢の低下や果実肥大・着色の遅れが見られます。病害虫ではうどんこ病、ハダニ類の発生が見られます。

2 ニラ

県北・県中・県南・相双地方の2年株及び1年株の生育は、12月中旬からの低温の影響で葉幅が細く葉色も淡いものが多く見られます。病害虫では株腐細菌病、アブラムシ類の発生が見られません。

3 秋冬ねぎ

いわき地方の生育は、低温の影響で茎の肥大が悪くやや細めの出荷量が増加してきています。

【果 樹】 (3月27日現在)

農業総合センター果樹研究所の予測によると、今後の気温が平年並みに経過した場合、モモ「あかつき」の発芽は4月4日頃で平年より9日遅く、ナシ「幸水」の発芽は4月9日頃で平年より6日遅く、リンゴ「ふじ」の発芽は4月4日頃で平年より6日遅いと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右されやすいため、今後の気象経過に注意が必要です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7336

http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gi_jyutsufukyuu/seiikugi_jyutsujyouhou.html